

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

<阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
K-1	—	○	—	—	○	—
K-2	○	○	○	○	○	○
K-3	—	○	—	—	○	—

<阿武隈川河口沖K 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質				底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
K-1	38.0457°	140.9282°	H28.12.7	—	09:03	—	12.7	砂	5Y4/2	なし	—	—	
K-2 (表層)	38.0455°	140.9401°		08:21	08:48	10.9	13.3	砂	2.5Y3/1	稚貝少々	16.6	8.5	
K-2 (下層)				08:30		13.5							
K-3	38.0458°	140.9518°		—	08:03	—	13.3	シルト混砂	2.5Y3/3	なし	—	—	

<阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-2 (表層)	38.0455°	140.9401°	H28.12.7	08:21	8.1	0.7	2.4	8.7	4010	32.69	0.9	2	1.5	N.D. (0.0014)	0.0047	—
K-2 (下層)				08:30	8.0	0.5	1.1	8.3	5030	33.79	0.9	2	1.1	N.D. (0.0013)	0.0044	0.00081

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
K-1	38.0457°	140.9282°	H28.12.7	09:03	8.0	256	21.6	1.4	0.9	2.700	0.1	2.1	46.9	49.3	1.3	0.3	0.25	4.8	5.1	35	—
K-2	38.0455°	140.9401°		08:48	7.7	251	33.2	2.5	2.3	2.703	0.0	0.2	1.5	70.2	20.1	8.0	0.11	2.0	13	87	N.D. (0.14)
K-3	38.0458°	140.9518°		08:03	7.7	243	41.0	4.2	5.0	2.661	0.0	0.1	0.4	28.5	63.1	7.9	0.062	2.0	24	170	—

<阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	—	—	—	H28.12.7	節足動物	軟甲	エビ	ワカガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	3	1.2	成体	—	—	2.10	0.40	1.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ	2	2.2	成魚	ゴカイ類	内臓除去	0.80	N.D. (0.35)	0.80	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ	1	0.99	成魚	ゴカイ類	内臓除去	2.36	0.46	1.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ	1	1.7	成魚	空胃	内臓除去	0.67	N.D. (0.31)	0.67	—

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。